

氏名	三 木 洋
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	甲 第 551 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和58年 3 月31日
学 位 授 与 の 要 件	医学研究科内科系内科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	Protein plug と臍石の比較研究 第1編 内視鏡的に採取せる protein plug の電子顕微鏡による形態学的研究 第2編 臍石の走査電子顕微鏡による形態学的研究
論 文 審 査 委 員	教授 長島秀夫 教授 太田善介 教授 村上宅郎

学位論文内容の要旨

慢性臍炎の発症進展に重要な役割を演じると考えられている protein plug と、慢性臍炎の重症型である石灰化慢性臍炎における臍石の微細構造、形成過程を明らかにし、さらに両者の関係を解明するために、走査型電子顕微鏡、透過型電子顕微鏡、X線マイクロアナライザーを用いて観察を行った。protein plug は主として酸性ムコ多糖、糖蛋白より成る細い線維と桿菌より成る太い線維が網状構造を形成し、その間隙を無晶物質が充填していた。

臍炎はカルサイトが多中心性に層状堆積したものと、カルシウムに乏しい中心核周囲に同様にカルサイトが層状堆積したものとが存在した。臍石内部にも protein plug 類似の網状構造、無晶物質を認め、ともに層状発育を示す点、カルシウムに乏しい中心核を protein plug と見なせる点より protein plug に炭酸カルシウムが様々な形態をとりながら沈着して臍石に発育してゆく過程が推測された。

論文審査の結果の要旨

本研究は慢性臍炎の発症進展に重要な役割を演じると考えられる protein plug と臍石の比較研究を走査型電子顕微鏡、透過型電子顕微鏡、X線マイクロアナライザーを用いて検討し、protein plug から臍石に発育する過程など新しい重要な知見を得たものと

して価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。